



こんにちは! 2009年度の始まりです。新入生の保護者の皆さん、東学園はいかがでしょう?今号では新入生のご家庭の様子をお知らせいたします。親子ともども素敵な一年にいたしましょう。(^^)v(O)



武蔵野東学園 連合後援会だより

幼稚園

ぴかぴか幼稚園は思いの外順調なスタートを切りました。キラキラしている息子の目。不安は徐々に消えました。満開の桜の中、先生方の温かさに包まれ、可愛い園は、まるでおとぎの国。そんな幸福感に酔いしれていた矢先、「ぼく、ようちえんにいかない」と突然息子は言い始めました。体操服に着替えない。大泣きする。私滅入りました。そんな時、心に染み入ったのは、先生方の「おはよう」や「明日待っているからね」という元気な明るいお言葉。ニコニコ笑顔も心の支えになりました。

5月になって、少しずつ心が解けてきた息子。「いちごが…さんかく…」というメロディー定まらぬ歌声が、今日も我が家に優しく響いています。(年少 S)

小学校

息子が憧れの武蔵野東小学校に入学して、はや2カ月がすぎました。最初は、教科書やノートが入ると思つたより重たくなるランドセルにへきえきしていた息子でしたが、今はシャキッとした姿勢で歩けるようになりました。

幼稚園で育まれた、お友だちを思いやる心と自信を胸に入学の日を迎えましたが、隅っこには新しい世界への不安もあったのでは…と思います。そんな息子を私も内心ドキドキしながら見守っていましたが、親も子も、そんな心配は無用のようでした。

通学のバスの中でも学校に着いてからも、上級生の皆さんがお世話をしてくださり、会話や遊びの輪に入れてくださったことが、一人っ子の息子にとってはとても新鮮で、嬉しかったようです。また、学校で何か困ったことが起きた時、最初はすぐに先生の助けを求めていたようですが、先生のお導きにより、些細なことなら自分や友だち同士で解決しようとする気持ちも芽生えてきたようです。

これからも、自分が親切にさせていただいた経験を忘れずに、心優しい「東っ子」に育ってくれることを期待しています。(小11)



高等専修学校

4月に入学して早いもので2ヶ月が過ぎました。入学前から楽しみにしていた野球部に入部できたこともあり、学校生活全体がとても充実しているようです。久しぶりに会った小学校時代の友人が息子に「穏やかになった」と言ってくれたそうです。まさに東生活の効果なのではないでしょうか。何をすることも難しい現代、特に子育て環境は問題が山積んでいます。そんな中でも私たちは未来を考え責任を持って子ども達を教育していかなければなりません。ではどういう教育が今一番必要なのか…やはりそれは「心の教育」です。何校も見学した私立中学の中でただ一つ私の心に「響いた」学校、東での今後の3年間が本当に楽しみです。(中1 O)

とうとう? やっと? 高校生! 背も高くなり、髭もはえて…でも中身は小学1年生!?の息子。ネクタイも結べないまま入学式に出席してから早2カ月。

走るの以外は苦手なのに「体育コース」を選び「下手でも頑張る事が楽しいって思ってるの!」と奇跡的な前向きさでもって、毎日張り切って登校して行きます。集団が、友達が苦手で逃げてばかりいた彼。1年生研修からちょっと大人の顔で帰宅し「友達できたよ!もっと増やすんだ!!」と高専での目標を決めたよう。母の願いは、友達とケンカして、仲直りして…と、そんな当たり前の経験を沢山してほしいという事。3年後には少しでもまし!?な社会人となる為の修行に親子で励みたいと思っています!(高1 T)

中学校

平成21年度 連合後援会 総会報告

去る4月21日(火)北原記念館スカラホールにて、各園校及びむらさき会の会長、役員、後援会会員、保護者、及び学園側からは各園校の校長、教頭職他の出席により、連合後援会総会並びにむらさき会総会が開催されました。

本会では、①平成20年度の事業・会計報告、承認②平成21年度の事業目標・会計予算、承認③各園校会長、五役選出・承認④各園校役員紹介他が行われました。

本紙では②平成21年度の事業目標についてご紹介いたします。

平成21年度事業目標の発表

【連合後援会】

- ① 創立の精神を継承発展させるための活動
- ② ポストン東スクールとの交流活動
- ③ 学園後援組織の拡大充実

【幼稚園】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 子どもを中心とした明るく温かい幼稚園づくりの協力
- ③ 保護者の趣味や特技を生かした活動の推進
- ④ 地域と和やかな関係づくりへの推進
- ⑤ MOTTAINAI 運動の推進

【小学校】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 『JoyDay』を含め、会員相互の輪を広げる活動の推進
- ③ 地域との共生

【中学校】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 生命科講演、職業観育成のための後援
- ③ 私学助成活動への協力

【高等専修学校】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 学校行事への保護者の積極的な参加と教育への協力
- ③ 家庭での親と子の対話の充実

【むらさき会】

- ① 連合後援会事業目標への協力
- ② 「すべての会員の子弟は我が子である」を合言葉に会運営の推進
- ③ 会員相互の理解と親睦を兼ねた行事の開催
 - ・むらさき親子運動会 5月31日(土)
 - ・保護者会一慰労会 5月31日(土)
 - ・保護者会一新年会 1月10日(土)
- ④ 「可能性をひろげて」の編集発行
- ⑤ むらさきOB会との連携(地域ネットワーク等)



●編集後記

今号はいかがでしたでしょうか? 幼稚園の運動会は大いに盛り上がったようです。日本中を興奮させたオリンピック選手を直に感じた中学陸上部の生徒、エコ活動に取り組んでいる小学生、インターンシップを経験して社会経験をつんでいる高専の生徒…。様々な経験、体験が子ども達を大きく成長させますね。我々も負けずに成長していきましょう! えっ?横に大きくなっているって?(O)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	鈴木 葉子	高田 尚美
中学校	阿比留 留美子	金子 マサ子
小学校	武田 陽子	平川 真弓
幼稚園	内田 千恵	奥山 伸子
高等専修	桑原 厚	
中学校	大槻 敬	
小学校	齊藤 良	家住 隆士
	北川 久一郎	青柳 博行



武蔵野東学園
連合後援会だより

私の母の話では、現在幼稚園年中の子供が私の子供時代にそっくりだそうです。子供が「かわいい」と言われると、密かに自分自身のことだと思いきり満悦になっています。但し、ここにある写真から私の子供を探し当てるのは至難の業です。これは飽く迄も変わり果てた姿を現しています。幼稚園後援会長も2年目に入りましたが、素晴らしい先生方や多くの熱心な保護者の皆様のご支援があってこそこのものです。微力ながら、少しでも貢献できるよう頑張っています。これから年間様々な行事がありますが、皆さんと一緒に楽しんでいきたいと思ひます。宜しくお願いします。



幼稚園後援会長
大野浩司

この春より、小学校の後援会長を務めさせていただいています吉田です。よろしくお願ひします。子供が2人とも小学校に通っているせいか(2年生と4年生です)、最近、自分の小学生時代のことを何かと思ひ出します。高学年の頃は、よく下校時刻まで、校庭でドッジボールをしていました。今でも忘れられない楽しい思い出です。武蔵野東小学校には、Joy Dayをはじめとして、保護者が楽しく参加できる行事が色々ありますので、皆さんと一緒にエンジョイしながら、子供達に楽しい思い出をたくさん残してあげられたいと思ひています。



小学校後援会長
吉田行郷

後援会活動H21がスタート致しました。武蔵野東学園の先生方・保護者の皆様には、大変お世話になり東中学校の後援会会長として五年目を迎えることになりました。お陰をもちまして色々経験。また色々な方々との出会いをさせていただき本当に感謝いたしております。皆さんと一緒に後援会活動・東っ子の成長を見ながら楽しく過ごしている内に、ふと気がつくといつものまにか自分の歳が大台に乗っているのに気付いてしまいました。浦島太郎の気持ちがかかるような今日この頃です。『ちょっとガッカリ』かな。今年度も後援会活動よろしくお願ひします。



中学校後援会長
岩崎充利



よろしくお願ひします。 会長ご挨拶

“非常に残念”その一言に尽きるむらさき運動会の中止でした。雨、新型インフルエンザ等、如何ともし難い判断だと思ひます。ただ、わが息子は、「中学校の先生に会いたかった。」と少し悲しげでした。わが息子の様に卒業しても機会があれば是非学校に行き、先生に会いたいと思ひる学園であり続けて欲しいと思ひます。そういう意味においても、本年度より高等専修学校の後援会長を務めさせて頂く事と成りましたので、役員の方々の支えと、保護者の皆様のご協力により、微力ながら頑張りたいと思ひます。宜しくお願い致します。



高等専修学校後援会長
佐竹秀克

佐野前会長から、むらさき会会長のバトンを受け継ぎました。至らぬ点が色々ございますが、皆さまのご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。むらさき会=時と世代を越えた繋がり。主人公である子供達が、先生と保護者の、先輩と後輩の絆をしっかりと結びつけてくれています。彼ら、彼女らのお陰で私達の出会いがあり、この集まりの結束力を生みだしてくれているのです。コミュニケーションを苦とする人びとが、周りの人びとのコミュニケーションの輪を広げている。それがむらさき会の魅力のひとつだと感じています。微力ではありますが、混合教育を掲げる東学園をバックアップしていきたいと思ひます。皆さまの益々のお力添えをお願いします。



むらさき会会長
白井周平

みなさん、こんにちは!今年度よりむらさき会副会長を務めさせて頂きます大槻です。中1CDE組に息子がいます。小学校6年間お世話になり、心も体も大きく成長したことを実感しています。そして、私自身も東学園ライフを満喫させていただいています。小学校のエンジョイをはじめ、中学校のおやじの店や、高専の蕎麦打ち、保護者ラグビー部、有志の父親勉強会、連合後援会だより編集等に顔を出させて頂き多くの保護者の方々と個人的な懇親も深めています。ひょっとしたら子ども以上に楽しんでいるかも?こんな私ですが、皆さんのお役に立つよう努力いたします。

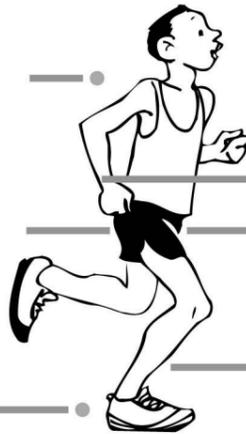


むらさき会副会長
大槻敬

中学校 陸上部

オリンピック選手による陸上クリニックに参加して

昨年の北京オリンピック…手に汗握りながら1走の塚原選手を見た。スタートのその瞬間迄、緊張で心臓がはち切れそうになる。その時はきた。いいスタート。バトンが2走の末續選手に渡る。そして…高平選手へ…。そして、その高平選手がつい先日中学校に訪れ、陸上部の生徒たちにむけての陸上クリニックが実現しました。リレーで3走を走る我が子にすれば、この上ない存在です。一言、一言を噛み締めながら聞いたと言ひます。何かを身に付けるため、日々努力している中学生達。夢を実現させたその存在は、そんな彼らに“決して諦めず、努力する事で実を結ぶ”と教えてくれたそうです。高平選手、そしてこのような企画をして下さいました諸先生方に感謝します。(中2 S)



高平選手とのガチンコ勝負から一流選手の凄さを実感し、新たな目標が決まった陸上部チームは毎日青春の汗を流しています。高平選手から教えて頂いた自然な腕の振り、つま先方向を確認するジョギングなど、スムーズな走りの原点をもう一度見つめ直して練習に取り組んでいます。今年の目標は東京都大会優勝、東京都中学新記録樹立、全国大会400mリレー、100m、走幅跳で決勝進出を目指しています。もう既に東京都大会出場をかけた多摩地区大会が行われ、各学校からの熱い視線を感じながら走りまくり、絶好調で多数の都大会出場者を決めています。全国の決勝は8月24日、テレビ中継もありますのでみなさん楽しみにして下さい。陸上部顧問 伊藤先生

幼稚園

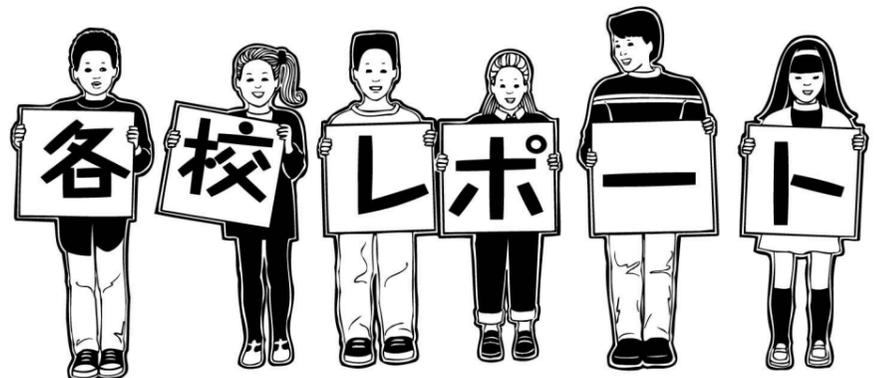
●運動会

前夜、「明日のリレー緊張するなあ〜」と娘がつぶやきました。年長の娘にとって、最後の運動会。熱い思いを宿していたようです。運動会が近づくと、普段、運動嫌いな娘が、夫や兄を相手に家の前を走っていました。また、園庭での練習が4日に終わった夜、「悔しい…」と唇を噛み締めていました。そんな普段と違う娘を見て、私は励ましの言葉をかけていましたが、石が一の時を思うと、不安な気持ちになっていました。結果は惜しくも2位。娘からの第一声は、「2番だったよ!1番に近づいたよ!」という、超ポジティブな言葉でした。何て前向きな我が子!!そして、「もう一度運動会をやったら、きっと1番だよ」と親子で笑ひ合いました。運動会のリレーを通じ、娘がひとつ成長したなあ、と感慨にふけております。(年長 I)

中学校

●生命科の授業のこと

娘は東中に入学する前から、「生命科ってどんなことするんだろう?」と楽しみにしていましたので、時々授業の様子を話してくれます。今、2年生は「福祉」をテーマに勉強しているようですが、先日「エスカレーターは右側を歩く人のためにあけておくけれど、世の中にはケガや障害などいろいろな事情で右側にしか立てない人もいる…」という話を聞き、いつも右側を歩いている私は大変考えさせられました。それ以来、急いでいる時は階段を上がっています。そして、立派な機械が出来て便利な世の中になっても、「譲り合ったり助け合ったりする気持ち」が何より大切と思ひます。(中2 H)



小学校

●エコキャップ大作戦

山と積まれたエコキャップ。その一つ一つを点検、シールをはがす……根気のいる作業ですが子ども達は皆熱心に取り組んでいます。時に「発見!お気に入りキャップ」と弾丸声!お祭りごとの大好きな兄が東エコクラブに入ったのは、「遊びに行けそう」という不純な動機からでした。ところが、街の清掃、自然体験、テレビ出演?……と様々な活動を経るうちに、環境への意識の高まりか、よく「もったいない!」と言うようになりました。最近では弟も「ゴミじゃなくて雑紙!」と指摘し、父親も缶ビールのプルトップを必ず外します。東小でこれまで集められたキャップは累計196,200個。250人分のワケチンに相当するそうです。これからも遊び心を大切に、エコキャップ大作戦はまだまだ続きます! (5年 M)

高等専修学校

●校内実習を経験して

5月11日~15日、就労を目指す2年生が校内実習を受けました。企業や作業所に行っているという設定で行われ、作業着に身を包み部活もせず気持ちを切り替えて臨みました。ただ実習中は先生を「〇〇さん」と呼ぶ徹底ぶりなので戸惑いもあつたようです。子ども達は5日間にわたり計数や封入作業、幼稚園に出向いて劇の衣裳の整理などに取り組みました。作業は速くするとミスが増え慎重にすればスピードが落ちるという具合でそれぞれ自分の課題がはつきりました。校内実習を通して子ども達は働くことに対する意識が高まり私達保護者も子どもを社会に出す心構えが少しずつできてきました。先生方の御指導のもとそれぞれが力を発揮できる職場に御縁があるように願っています。(高2 S)